

2017年 キリスト教 教育デー 生徒の感想

2017年9月1日

3年Bクラス 工藤 蓮

今日、僕達は、雑巾縫いと松山荘で奉仕活動を行いました。雑巾は施設の方々がいのように、気持ちを込めて縫うことができました。奉仕活動では、車椅子の掃除や、高齢者の方々とゲームをしました。おじいさんやおばあさん達が喜んでくれて自分もすごく嬉しかったです。

施設には、病気で自分で動けない人や機械で酸素を送らなければ生きれない人たちも多かったです。けれども元気に話しかけてくれ、笑顔を見せてくれたので、逆に僕達が生きる元気をもらいました。

今回誰かのために何かをするということが、本当に素晴らしいことなのだと改めて学ぶことができました。朝の礼拝で西村さんがおっしゃっていたように、他人のことを思うとものすごいエネルギーを生むことができます。これからも他人に尽くせるいい意味でカッコいい人になれるように頑張ります。

3年Fクラス 工藤 未有

奉仕活動で私のクラスは大清水学園と大清水ホームに行きました。私は大清水学園で園内の掃除をしました。今朝の西村先生が講演でおっしゃっていた「相手の人のことを思い、何のために仕事をするのか」という言葉を思い出して掃除をするとき、きれいになって子供たちがその教室を気持ちよく使ってもらうことを考えながら掃除をしました。

時間になってしまい、切り上げることになってしまいましたが、掃除が終わって帰るとき、子供たちや先生方に「ありがとう」といってもらえたとき、うれしい気持ちになり、そしてやってよかったと思いました。

今日一日を通して自分のためではなく、他人のために働くことで、責任感がわき、普段よりもさらに良い働きができるようになるということを学びました。これから何のために働き、また生きていくのかももう一度考え直し、小さくても目標をたてていきたいです。そして、その目標を少しずつ達成していき、人生の満足感を上げながら生きていきたいです。